

### 飯岡釜酸水あめ

(生産地) 千葉県海上郡飯岡町内。  
 (生産量) 年産百三十万ト五五十万斤、金額にして約十八億七千万円。  
 (特徴) 原料はすべて洋産の粉糖の上品品を使用しており、ポロリと製成品のように北洋処理によらないので透明でなく、いわゆるあめ色小な金形形。生産者は大部分が室内工業的な小企業形態。製品は大部分製菓原料向け。  
 (生産期) 年中だが最盛期は三ヶ月で、野野の出回九月末から翌年二月。  
 (出荷期) 年中だが最盛期は十月から翌年三、四月。  
 (生産者数) 約四十五軒。  
 (主要生産者) 飯岡あめ工業協同組合調査責任者一(海上郡飯岡町行内(飯岡興元))  
 石井政司(同町平松(同同))  
 鈴木金太郎(同町飯岡(同同))  
 大橋屋水あめ店(同町飯岡東浜(同同))  
 向後守一(同町下永井(同同))  
 向後久一(同町飯岡(同同))  
 熱田五郎(同町飯岡(同同))  
 植木商店(同町川端(同同))  
 大松繁松(同町下永井(同同))

佐久間一(同町飯岡(同同))  
 佐木邦吉(同町飯岡(同同))  
 伊藤栄樹(同町下永井(同同))  
 土井定次郎(同町大崎(同同))  
 鶴岡式(同町並木(同同))  
 仲倉茂兵衛(同町飯岡(同同))  
 仲倉松之助(同町大崎(同同))  
 長谷川平太郎(同町下永井(同同))  
 松山(同町飯岡(同同))  
 横田清蔵(同町飯岡(同同))  
 (組合) 飯岡あめ協同組合(飯岡町飯岡二二八九(飯岡五、五))  
 (主要仕向先) 東北地方四割、東京二割、ほか全国各地。  
 (取引方法) ①原則として生産者は地元組合を通して消費地問屋に仕出すが、一部直接問屋取引もする。②取引単位は普通十ト(貨車一車)一から六貫八匁(取引が七十本当り)③支払条件は原則として現金取引だが、信用により引替証券および三十日手形が、信用上難しは持込み、遠距離は荷票(その他問合せは前記参照)生産者↓組合↓問屋。

(出荷経路) 生産者↓組合↓問屋。

### 南部(八戸)せんべい

(生産地) 青森県八戸市内が主産地で十和田市(生産量)年産三戸町も若干ある。  
 (生産期) 年中小麦粉消費量三万六千袋(二十一万ト)。  
 (特徴) 伝説では地徳の昔、最盛天皇、陸奥長谷谷に還幸のさい、舟を求められた。臣赤松某付近の漁家から、そば粉とこまを入り手し獲りての鉄甲を鍋とし、そば粉をわけて火にかけて煮まふりかけて、せんべい様のものをつくり差上げた天皇は喜ばれ賞として赤松某へ橘氏の御水、蒸に赤松の定款、三階松を贈らせんべいの製法を許したという。この製法はいまも使われている。このように昔はせんべいも使われていたが、その後麦粉で原料にして商品化したのが南部せんべいで別名八戸せんべいともいう。砂糖を使わず塩味だけで噛みしめると忘れがたい香りと味があり、ビールのつまみにも好適。南極観測隊給食にもなった。  
 (生産期) 梅雨期を除き通年。  
 (出荷期) 梅雨期を除いて年中だが、最盛期は三、五月、八、十一月。  
 (生産者数) 約百三十軒。

(主要生産者) 青森県商工課長 渋谷武人抽

### 草加せんべい

(生産地) 埼玉県北足立郡草加町。  
 (生産量) 三十一年の生産は平成品(生地)九十六万貫、製品十二万貫。  
 (特徴) 草加せんべいの起源は奥州街道に茶店を出して団子を売っていた者が先残りの処置に困っていたところ、旅人が薄く延ばして焼き塩味をつけたらいいと教えてくれたところからできたものと伝えられている。文化文政(一八一七年)のころ、醤油が常用されるに連れて江戸をはじめ関東人の好みに適合して急速に発展した。種々の西地方の販路開拓に成功し、現在全国への生産地。  
 (種類) 大丸、中丸、小丸、角、扇。  
 (生産者数) 百二十軒。  
 (生産・出荷期) 年中だが、最盛期は四月二十月。

(主要生産者兼出荷問屋) 草加煎餅組合 調査

池田煎餅商店(北足立郡草加町(草加))  
 滝川煎餅商店(同町同(同))  
 岸波堂二(同町同(同))  
 笹田依商店(同町同(同))  
 関一(同町同(同))  
 関一(同町同(同))  
 関口煎餅店(同町同(同))

石井清造(同町同(同))  
 草加堂本店(同町同(同))  
 高橋清一郎(同町同(同))  
 大馬屋商店(同町同(同))  
 滝沢商店(同町同(同))  
 野口商店(同町同(同))  
 磯川商店(同町同(同))  
 角屋商店(同町同(同))  
 豊田八重治(同町同(同))  
 浜波直良(同町同(同))  
 浜波政清店(同町同(同))  
 鈴木商店(同町同(同))  
 関木商店(同町同(同))

(組合) 草加煎餅商工組合(北足立郡草加町(草加))  
 (主要仕向先) 全国一円だが京浜地区が半分以上を占める。  
 (取引方法) ①県外小売商や消費者とも直接取引、②取引単位は一貫③支払条件は現金か一方の売掛④渡貨所は近距離は持込み、遠距離は東京沙留駅渡し⑤その他問合せは前記組合へ。